

# 数 学 談 話 会

数学談話会は、数学科教員及び大学院生が、これまでの研究内容について発表し、学生の皆さんの数学に対する見識を深めたり、共同研究の可能性を探ったりすることを目的としています。

数学に興味のある教員、大学院生、学部生の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2017年4月26日（水）15:00~16:00

場所 1A413教室

講師 深尾 武史（数学科 教授）

テーマ 劣微分に支配される発展方程式とその周辺

**概要：**抽象ヒルベルト空間上で定義される適正下半連続凸関数の劣微分に支配される発展方程式は、その勾配系の構造から様々な現象を記述する微分方程式の可解性に応用が可能である。この種の発展方程式の研究は1970年代から盛んに行われているが、単に抽象論の枠組みにとどまらず様々な現象を記述するための適切な設定の研究も同時に行われ始め、現在もなお数多くの研究結果が報告されている。本講演では、劣微分の定義とその簡単な例を紹介した後、発展方程式の抽象論については簡単な紹介にとどめ、現象を記述する微分方程式への応用例をいくつか取り扱う。また今後の課題についても紹介する。

